

## バヌアツ共和国へのマラリア撲滅のための医療奉仕

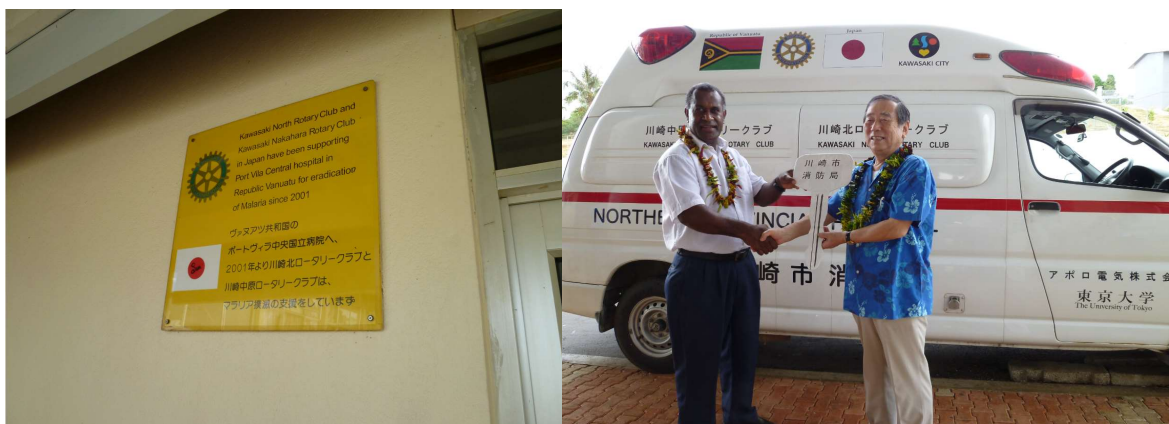
川崎北ロータリークラブ

国際奉仕委員長 村山輝忠

murayama-0cgh@jp.nomura.com

クラブ事務所：TEL 044-722-3344

### 【サイクロンの爪痕～バヌアツ訪問記】



### サイクロンの爪痕～バヌアツ訪問記

#### 第6回バヌアツ国際奉仕団（2016年2月12日～15日）

国際奉仕活動として、川崎北 RC と川崎中原 RC は地区内の他クラブとも協力しながら、マラリア撲滅のための医療奉仕を 2001 年よりバヌアツ共和国に対して継続して行っています。2016 年で 15 年目を迎えます。両クラブは 2 月 12 日より 15 日、6 回目のバヌアツ訪問を実施しました（総勢 10 名）。今回の訪問の目的は昨年末に送った 2 台目の救急車の贈呈式に参加するためです。今回も川崎市消防局より救急車を譲り受け、その車両を整備し、電源なども海外仕様に変更して船便で送りました。

寄贈式は、バヌアツ健康省の次官や現地のロータリークラブ会長、病院関係者、日本からの海外青年協力隊の隊員などに列席頂き、13 日（土）朝からビラ中央病院で行われました。

健康省の次官の挨拶で「**2020 年にはバヌアツからマラリアは撲滅されると予測されています**」という言葉がありました。2001 年に我々が始めたマラリア撲滅のための医療支援が、やっと結実される日を迎えることができそうだという報告に訪

問者一同皆胸を熱くしました。

翌日 14 日（日）は昨年のサイクロンの爪痕を見るため首都ポートビラのあるエフエテ島をマイクロバスで一周しました。現地にいる海外青年今協力隊の 2 名と一緒に行動しました。サイクロンの時は、2012 年に送った 1 台目の救急車が非常に役立ったそうです。サイクロンよりほぼ一年が経っていますが、大きな樹木がポキリと折れた状態で倒れたまま、海辺の船が岸に打ち上げられたまま、ホテルなどの建物は復興半ばの状態でした。サイクロンの威力と怖さを実感させられました。サイクロンからの復興には、まだまだ我々の支援が必要であることを感じた今回の訪問でした。

少しでも早いサイクロンからの復興と、我々に支援の結実として 2020 年と予測されているマラリア撲滅を願ってやみません。